

2023年度 ニチキッズおおみや上落合保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月9日（火）～1月25日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月2日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念に基づき“子どもの最善の利益とは何か”ということを念頭に置いて一人ひとりの発達段階を踏まえ信頼関係をしっかりと築き、子ども達が安心して過ごせるように心掛けた。
子どもの発達援助	“おもいっきり遊び おもいっきり学ぶ”の環境を整える為、一人ひとりの発達段階を理解し、子ども自らが好きな遊びを選び、やりたいことを発信出来るように援助していった。個々に関わる必要がある場合は、ケースカンファレンスを通して共通認識を持ち支援を行った。
保護者に対する支援	保護者との信頼関係を築けるように連絡帳を用いたり、送迎時に子どもの様子を伝えていった。また個人面談を行い家庭の様子を聞いたり、保育参加を行って園での子ども達の様子を見る機会を設けることにより保護者の方は安心して下さいました。
保育を支える組織的基盤	園内外の研修で個々がスキルアップを図り職員会議で共有していった。クラスMTG、フリーMTG、職員会議、ケースカンファレンスを定期的を実施していく中で週案のすり合わせ、そして必要な支援を再確認することにより、共通認識のもと園全体で子ども一人ひとりを支援していくことを心掛けた。

総評
保育理念に基づき日々の計画をたて、子どもの発達段階に適した活動を行うことが出来た。室内遊びでは手先を使ってのパズルやひも通し、食育活動では栄養士を交えて本物の野菜を手に取り、トウモロコシやミカンの皮むきを楽しみ季節の野菜を身近に感じた。戸外遊びでは、一年を通して季節を感じる機会を設けた。桜の花びら、どんぐり、落ち葉拾いを楽しんだり、冬の寒い日には、霜柱、薄氷を見つけて不思議そうな表情をする子ども達でした。次年度も子ども達一人ひとりの“やりたい”“という気持ちを大切にしていって環境を整え安心して過ごせるように、又保護者との信頼関係も深めるように努めていきたい。